

## 令和3年度 第3回 香川県公共事業評価委員会 議事録

1. 日 時：令和4年1月28日（金） 13時30分～16時00分
2. 場 所：香川国際交流会館（アイパル香川）大会議室  
※新型コロナウイルス感染症対策としてオンライン会議を併用
3. 出席者：委員（敬称略）  
委員長 井原 健雄（香川大学名誉教授）【欠席】  
副委員長 白木 渡（香川大学名誉教授）  
委員 池田 弘子（(株)人間科学研究所所長）  
大谷 誠一（(一社)香川経済同友会専務理事）  
角道 弘文（香川大学創造工学部教授）  
佐藤 好美（佐藤好美建築工房主宰）  
末永 慶寛（香川大学創造工学部教授）  
(委員7名のうち6名出席)
4. 議 事
  - (1) 再評価対象事業  
再評価の審議対象6事業のうち2事業の詳細審議を行った。なお、現地調査については、新型コロナウイルス感染症対策のため現地に赴くことは控え、写真などを用いて現地の状況を報告した。
    - ① 社会資本整備総合交付金（広域河川改修事業） 春日川 [香川県]
    - ② 治水ダム建設事業 長柄ダム再開発 [香川県]
  - (2) 事業別審議結果  
【再評価】
    - ① 社会資本整備総合交付金（広域河川改修事業） 春日川 [香川県]
      - 1) 委員会の意見：事業の継続
      - 2) 委員会での委員の意見概要
        - ・詳細審議により、投資効果や進捗等を考慮し、継続の必要性を確認した。
        - ・今後、より一層重要となってくる流域治水の考え方を踏まえながら、事業を継続するよう留意されたい。
    - ② 治水ダム建設事業 長柄ダム再開発 [香川県]
      - 1) 委員会の意見：事業の継続

## 2) 委員会での委員の意見概要

- ・詳細審議により、地形測量や地質調査に基づいた概略設計や、社会経済情勢の変化による単価の見直し等の結果による事業費の増額について、その必要性を確認した。
- ・費用便益分析の過程について、治水経済マニュアルを踏襲した内容となっはいるものの、既存のダムを活用する再開発という事業の特性を踏まえた費用便益分析については、今後、国と協議されたい。
- ・今後、より一層重要となってくる流域治水の考え方を踏まえながら、事業を継続するよう留意されたい。

## (3) その他

### 1) 議事録及び答申について

議事録及び答申については、各委員の確認を得た後に公表する。

— 以上 —